

## 第23回北海道チャレンジドサッカー大会（8人制）競技規則

### 1、ボール

- ・一般用5号ボール、ジュニア用4号ボール

### 2、競技者の人数

- ・1チーム8名で、うち1人はゴールプレイヤーとする。
- ・試合開始前に6名に満たない場合は、相手チームの不戦勝（0-3）とする。
- ・退場者が出た場合、そのチームは競技者を補充することができる。

### 3、競技者の用具

- ・FIFAのルールにより、杖の使用は認めない
- ・選手は、他競技者と区別する為、背番号のついたシャツを着用する。（ビブスの代用可）
- ・ゴールプレイヤーのユニフォームは、他の競技者と区別できる色のものを用いる。また、同色チームのユニフォームの場合については、審判の判断にて片方のチームにビブスの着用を指示する。
- ・危険であったり、競技に支障をきたすおそれのある用具は、使用することができない。
- ・ネックレス、指輪、ピアス、皮革やゴムでできたバンドは禁止、テープで覆うことも禁止。ヘアバンド、柔らかくてパッドが入ったヘッドギア、フェイスマスクは使用可。
- ・眼鏡についてはスポーツメガネまたは、スキー用ゴーグルでカバーすることで着用を認める。

### 4、審判

- ・主審1名副審2名で行う。
- ・副審は各チーム帯同者が担当する。

### 5、試合時間

いずれの試合もランニングタイムとする。

- ・一般クラス 前・後半15分、インターバル5分（コートチェンジ有り）
- ・ジュニアクラス 前・後半15分、インターバル5分（コートチェンジ有り）
- ・一般クラス順位決定戦において同点により勝敗が決しない場合は、ペナルティーシュートアウト方式により決定する。

（3名以降サドンデス：グループリーグでは実施しない。）

### 6、順位は以下の順で決定する。

- ①勝ち点（勝3点 引き分け1点 負0点）
- ②全試合のゴールデファレンス（総得点－総失点）
- ③全試合の総得点
- ④当該チームの勝敗
- ⑤全試合のゴールアベレージ（総得点÷総失点）
- ⑥コイントス

### 7、選手の交代

- ・選手交代は人数、回数とも自由とする。（メンバー表に記載した交代要員に限る）
- ・選手交代はアウトオブプレー中に行うこととし、主審の承認を得た後に行うこと。
- ・選手が負傷などの理由により、ピッチから出ようとしたり、入ろうとするときは、主審の承認を得ること。

## 8、プレーの開始および再開

- ・キックオフをするチームの相手チームは、ボールがインプレーになるまで7 m以上ボールから離れる。それ以外については、F I F Aの規則の通り。

## 9、ボールのインプレーおよびアウトオブプレー

- ・F I F Aの規則の通り

## 10、得点の方法

- ・F I F Aの規則の通り

## 11、オフサイド

- ・現行規則で実施する。

## 12、反則と不正行為

- ・F I F Aの規則の通り
- ・バックパス規則は適用します。（ジュニアは除く）

## 13、フリーキック

- ・競技者は7 m以上ボールから離れる。それ以外はF I F Aの規則の通り

## 14、ペナルティーシュートアウト

- ・F I F Aの規則の通り

## 15、スローイン

- ・相手競技者はスローインが行われる地点から2 m以上離れる。
- ・ファールスローに対してのやり直しはしない。

## 16、ゴールキック

- ・F I F Aの規則の通り

## 17、コーナーキック

- ・ボールがインプレーになるまでに相手競技者は、7 m以上ボールから離れる。それ以外はF I F Aの規則の通り

## 18、ベンチ

- ・ベンチには監督、コーチ、選手以外は入らないこと。

## 19、コーチングエリア

- ・ジュニアクラスにおいては自チームのベンチ前及び自チームのゴール裏（1名）のみコーチング可とする。それ以外の場所でのコーチングはできない。

## 20、オーバーエイジの出場

- ・ジュニアクラスにおいて当該チームにて継続した活動をしている選手で、高校生以上のオーバーエイジの選手については、ピッチ上に2名を超えて同時にプレーすることはできない。
- ・オーバーエイジの選手は腕章を巻いてもらいます。各コートに用意されているので、各チームで取りに来てください。

## 21、その他

- ・競技に関する打ち合わせは監督会議の時に行う。
- ・荒天時の取り扱いについては、別途大会本部にて定める。
- ・競技に関する不明な点、その他の不明な点は大会本部等に問い合わせること。